2018 年 10 月 23 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance
フィリップ証券株式会社

IOI（IOIB）

2018/6 通期は為替換算益やデリバティブ評価益により大幅増益、パーム油価格は底値圏と指摘

マレーシア|農産物| 業績フォロー

BLOOMBERG IOI:MK | REUTERS IOIB.KL

- 2018/6 通期は、売上高が前期比 2.3%増の 74.17 億 MYR、営業利益が同 1.7%減の 12.42 億 MYR、税引前利益が同 59.8%増の 15.71 億 MYR、純利益が同 4.1 倍の 30.60 億 MYR となった。
- 外貨建て借入金に係る為替換算益やデリバティブ金融商品の評価益により大幅増益。これらを除くベースの税引前利益は同 0.4%減。
- 同社は季節要因の増産ペースが予想ほど早くないことや輸出の伸び、鉱油に対する割安感などから、パーム油価格は底値圏と指摘。

What is the news?

2018/6 通期は、売上高が前期比 2.3%増の 74.17 億 MYR、営業利益が同 1.7%減の 12.42 億 MYR、税引前利益が同 59.8%増の 15.71 億 MYR、純利益が同 4.1 倍の 30.60 億 MYR となった。外貨建て借入金に係る為替換算益が寄与したほか、デリバティブ金融商品の評価益により大幅増益となった。これらを除くベースの税引前利益は同 0.4%減の 12.52 億 MYR となった。下流部門は伸びたものの、プランテーションが低調だった。

セグメント別の業績と概況は以下の通り。アブラヤシの栽培や粗パーム油（CPO）、パーム核油（PK）の圧搾・抽出などを行うプランテーション事業は、売上高が前期比 8.0%減の 2.38 億 MYR、セグメント利益が同 17.9%減。生産量は増加したものの、CPO や PK の価格低迷が響き減益となった。平均 CPO 販売価格は前期の 2,766MYR/トンから 2,549MYR/トンへ、平均 KP 販売価格は百万トンあたり 2,691MYR/トンから 2,252MYR/トンへそれぞれ低下した。粗パーム油の精製や油脂製品への加工など下流部門を担うリソースベース・マニュファクチャリング事業は、売上高が同 8.7%減の 85.83 億 MYR、セグメント利益が同 2.1 倍の 3.84 億 MYR。幅広いサブセグメントで販売量が伸びたほか、オレオケミカル分野でのマージン向上が寄与し増益となった。その他事業は、売上高が同 2.3%減の 1,300 万 MYR、セグメント利益が同 50.0%減の 460 万 MYR であった。

How do we view this?

同社によると、CPO 価格は生産量・在庫の増加見通しにより低迷していたが、直近のデータでは季節要因による増産ペースは予想ほど早くなく、輸出量の緩やかな伸びにより在庫も適正水準を維持しているという。植物油の鉱油に対する割安感が生じていることもあり、同社は現在の 2,200MYR/トン近辺を底値圏と見る。マレーシアの季節要因による増産なども寄与し、次四半期ではプランテーション事業の業績回復を見込む。リソースベース・マニュファクチャリング事業についても、精製マージンに不確実性が残るものの、原料価格の適度な低下によりオレオケミカル分野が業績を伸ばすと見る。2019/6 通期市場予想は、売上高が前期比 30.1%増の 96.46 億 MYR、当期利益が同 63.7%減の 11.11 億 MYR。

業績推移　※参考レート 1MYR=27.11円

事業年度	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6F	2020/6F
売上高（百万MYR）	11,739	7,249	7,417	9,646	9,687
当期利益（百万MYR）	629	743	3,060	1,111	1,184
EPS（MYR）	0.10	0.12	0.49	0.17	0.19
PER（倍）	45.50	37.92	9.29	26.76	23.95
BPS（MYR）	1.14	1.19	1.46	1.39	1.46
PBR（倍）	3.99	3.82	3.12	3.27	3.12
配当（MYR）	0.04	0.10	0.21	0.11	0.11
配当利回り（%）	0.77	2.09	4.51	2.42	2.42

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（MYR）	0.11	（予想はBloomberg）
終値（MYR）	4.55	2018/10/22

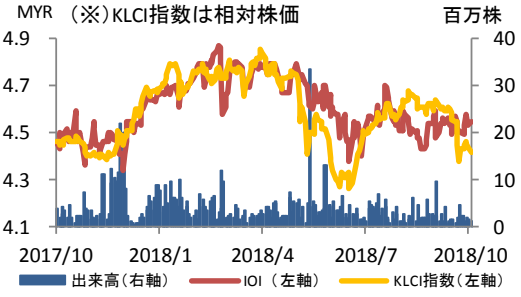
会社概要

1969年にインダストリアル・オキシジェン・インコーポレーテッドとして設立。2013年に現在の社名変更。世界有数の総合パーム油企業で、プランテーションから下流分野までパームバリューチェーン全体をカバーしている。1980年にブルサ・マレーシア証券取引所に上場した。

プランテーション事業では、マレーシアやインドネシアに業界最大級である23万ヘクタール超の農場を有している。実践的な管理手法などから、業界最大のパーム油を算出し、最も効率的な大規模プランテーションを運営している。リソースベース・マニュファクチャリング事業は、精製、オレオケミカル、特殊油脂などの下流分野を担う。世界の顧客のニーズ対応のため、マレーシア、オランダ、アメリカ、カナダに製造施設を有している。従業員は25ヵ国以上の国籍で3万人超。加工製品は、世界60ヵ国以上に輸出されている。

企業データ（2018/10/23）

ベータ値	0.78
時価総額（百万MYR）	27,662
企業価値=EV（百万MYR）	30,250
3ヵ月平均売買代金（百万MYR）	11.8



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2018/10）　（%）

1.Vertical Capacity Sdn Bhd	49.06
2.Kumpulan Wang Simpanan Pekerja	13.07
3.Kumpulan Wang Persaraan Diperbadankan	3.08

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103ー0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101 URL：http：//www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。